

「音楽」（1 学年）指導略案

単元・題材名	学校祭に向けて	生徒	1 学年（32 名）
		場所	音楽室
日時	平成28年 10月 6日（木） 2校時	指導者	MT：石田 浩子 ST：工藤 大地、木田 絢子 村瀬 はるな
単元の全体目標	○仲間と2小節のダンスを創作して共に練習し、発表することができる。		
本時の目標	・仲間同士で良いところを伝えあいながら、ダンスを創作することができる。 ・個人が責任をもってダンスを考えることができる。		

過程時間	学習活動	生徒の活動	教師の活動	教材・教具
導入 5 分 (10:00-10:03)	挨拶 前時の確認 本時の確認	○産業科の日直が挨拶をする。 ○学校祭に向けて、「僕が一番欲しかったもの」の合唱練習をパートに分かれて歌ったことを確認する。 ○校歌でパフォーマンスのダンスを考えることを確認する。	○挨拶を行う。 ○前時の確認を行う。 <協同学習の要素や配慮事項> ・ホワイトボードに書かれた内容を見ながら説明する。（配慮⑩） ○本時の確認を行う。	ホワイトボード
展開 5 分 (10:03-10:08)	創作部分の割り当ての説明	○校歌の1番を2小節で区切って、産業科、農業科A B、家庭科でダンスを創作し、一つのものを作り上げることを確認する。 ○活動場所を知る。	○創作部分の割り当てについて説明をする。 歌詞 流れも清き 利別川に（産業科） 澄んだ心を うつつつつ（農業科A） 希望に燃える 学び舎で（農業科B） 豊かな心を 育てます（家庭科） ※豊かな心を 育てます ※印の歌詞部分については次週全員で創作することとし、本時はリズムに合わせて拍手する。 <協同学習の要素や配慮事項> ・拡大模造紙を利用してダンスを創作する部分の割り当てを把握する。（①）（配慮⑧⑩） ○活動場所について説明する。 産業科、農業科A⇒音楽室 家庭科、農業科B⇒視聴覚室	
5 分 (10:08-10:13)	創作の仕方の説明	○創作の仕方を確認する。	○創作の仕方についてワークシートを見ながら説明する。 やり方 ①それぞれの活動場所に移動する。 ②ワークシートを配布して、2小節間の動きを一人一人が考える。 ③考えた動きを発表する。 （発表が終わったら必ず拍手をする） ④発表者に対して、良かった所を伝える。 （学級グループの1人は必ず発表者に対して意見を述べる） ⑤全員終わったら学級グループで話し合いをして、1名のダンスを選出し、修正があれば意見を出し合って修正する。 ⑥動きを全員で練習する。	

			<協同学習の要素や配慮事項> ・ワークシートで手順を確認する（配慮⑪） ・ワークシートを用いることにより、創作することへの責任感を持たせる。 (③)（配慮⑬） ・拍手をする、ほめることでメンバー全員が達成感を感じられるようにする。（配慮④） ・グループで話し合うことで創作に対する振り返りや改善を行う。（②④⑤）	
			○リーダーの選出。（教師の方で指定する。） 産業科⇒武田（竜） 農業科A⇒河島 農業科B⇒鈴木（幹） 家庭科⇒名久井 <協同学習の要素や配慮事項> ・リーダーを置き、対面的なやり取りやチームの振り返りを円滑にする。（②）（配慮⑫）	
18分 (10:13-10:31)	創作活動開始	○各教室に分かれて、創作を開始する。	○ワークシートのやり方の手順に従って、創作を行い発表し、一つのダンスを確定させて練習する。（②、④） <協同学習の要素や配慮事項> ・教師はリーダーに助言しながら、学習を進めていく。（配慮⑥⑦⑬⑭）	
10分 (10:31-10:41)	発展	○音楽室へ集まり、各学級の考えたダンスを披露する。	○ダンスの披露の仕方を伝える。 やり方 ①ロの字型でそれぞれ対面した形で並ぶ。 ②ピアノの伴奏に合わせてそれぞれの割り当ての箇所です2小節のダンスを発表する。（割り当てられた部分のみダンスする） ③次は各学級のダンスの良い所を見ながらダンスをするように伝えて、通してもう一度ピアノに合わせてダンスを発表する。（割り当てられた部分のみダンスする） ④各学級グループのダンスに対して良かった所、自分の学級と違う所を伝える。 ⑤最後に全員でもう一度ダンスをする。（各学級のダンスを見ながら、一緒に体を動かしてみる） <協同学習の要素や配慮事項> ・ロの字にすることで、一度に全体を見渡せるようにする。（配慮①） ・一度目の発表の後に、見る視点を伝えることによって、より相手の発表に関心を持てるようにする。（配慮⑨⑧） ・良いところを伝えあうことでメンバー全員が達成感を感じられるようにする。（配慮④） ・全員で一つのものを完成させる（①）	
整理 4分	まとめ	○各ダンスの良かったところについて、教師からの評価を知る。	○教師による評価（全体） <協同学習の要素や配慮事項> ・良いところを伝え合うことで学習に対する達成感を感じられるようにする。（配慮④）	

		○次時は考えたダンスの練習と、最後の４小節について考えていくことを伝える。	○次時のめあてや課題を知る。	
	終わりの挨拶	○産業科の日直が挨拶をする。	○挨拶を行う。	

（凡例）「前時の復習…」～授業の流れの骨子、 「○互いに教え合う…」～協同学習に関わる教師の活動

※（①）… 互恵的な相互依存関係 、 （②）… 対面的なやり取り 、 （③）… 個人としての責任
（④）… 協同学習スキル （⑤）… チームの振り返り

※（配慮①～⑪）… 配慮事項については、マニュアルP 8～10 参照。

※（配慮☆）… オリジナルの配慮事項。

音楽ワークシート

名前 _____

活動場所

産業科、農業科A・・・音楽室

家庭科、農業科B・・・視聴覚室

やり方

- ① 8拍（2小節）の中での動きを一人一人が考える【5分くらいで】
- ② 考えた動きをグループで発表する。⇒ルール 発表が終わったら必ず拍手をする。
- ③ 発表した人の動きに対して良かった所を伝える。⇒ルール 発表した人に対して、必ず誰かが意見を伝える。
- ④ 全員終わったら、意見を一つにまとめる。
- ⑤ 全員で動きを練習する。



表現することに間違いなんてないんだ！間違ってもいいからやれ！

どうせやるなら堂々とやった人が勝ちだ！

ゆたか な ここ ろを そだ てま す ゆ
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

考えたパフォーマンスを書きましょう。

授業参観者アンケート

授業者：石田 浩子
協同学習（各要素）についての評価
①互恵的な相互依存関係 ・①「互恵的な相互依存関係」として学校祭に向けた校歌の創作ダンスを学科ごとに分かれ、指定された創作部分を学年で合わせ1つのものを作り上げることにより、学年全体で課題をクリアするために取り組むことが明確であったため良かったと思います。 ・①については、学年全体でダンスを協力して、創作して完成させるという設定がなされていたので、良かったと思いました。しかも、時間内に創作が完成できていたので、良かったと思いました。しかし、グループの数がクラスの人数と多いグループになり、意見を積極的に発言する生徒とそうでない生徒がいましたので、もっとさらに2分割か4分割すれば良かったと思いました。 ・学年全体で1つのものを完成させましたが、グループ内で1つを作り上げた場面の方がより強く①を感じました。 ・グループ内でリーダーが中心となって話し合いを進め、グループとしての創作ダンスのまとめ「①互恵的な相互依存関係」ができていました。 ・クラスごとに振り付けを考えてまとめ、発表するというのが、全員での協力が不可欠となるため「①互恵的な相互依存関係」の要素が含まれており良かったと思います。
②対面的なやりとり ・②については、リーダーが責任をもってグループの進行ができていたので、良かったと思いました。この活動を続けてリーダーが育成できれば良いと思いました。 ・自分の意見や他者の意見を聞きながら交流していた部分は良かったです。他学級のダンス（振り付け）を見て感想を求める部分は良かったと思います。 ・ひとつのものを完成させるために振り付けの形や動き（手の）をアドバイスし合って活動する様子が良かったです。 ・各グループでは、リーダーが全員に意見を聞き、「②対面的なやりとり」ができていました。 ・クラスで一つの振り付けにまとめる際、仲間同士で励ましたり、声を掛け合ったりする様子が見られ、「②対面的なやりとり」の要素が含まれていたと思います。
③個人としての責任 ・③については、積極的に動く生徒は、自分の役割をこなしていたので、良かったと思いました。プリントは、自由度が大きすぎて何を書けば良いのかわからないと思いますので、図を描いて説明をつけるようなものでも良かったと思います。 ・普段いない先生たちがいる中で、生徒一人一人が創作ダンスを発表しており、「③個人としての責任」を見ることができました。 ・自分で振り付けを考え、クラスの仲間の前で発表することで「③個人としての責任」が果たされていたと思います。
④協同学習スキル ・④については、1年生にしては良くできていたと思いました。これからこのような場面を多くすればできるようになると思います。また、自分の考えたダンスでないと納得できないという特性の強い生徒に

対する支援があればもっと良かったです。自己主張が強い生徒には、協同学習は、難しいと思いました。

- ・信頼関係がまだ構築途中の1年生には難しいかもしれませんが、もし今後同じような内容を行う際に一緒に過ごすことが長い同学科で集めたグループでの取り組みだけではなく他学科で集めた、慣れていないもの同士のグループで行うとコミュニケーション能力がさらに向上されるきっかけになるのではないかと思います。
- ・協力してやらない生徒はもっとSTが動いて注意するか、リーダーが注意できるような環境が作れればと思いました。
- ・協同学習の要素の「④協同学習スキル」については、あまり明確ではありません。創作活動における協同学習スキルを検討して、明記できると良いと思います。考えるスキル、集団活動スキル・コミュニケーションスキル、教科固有のスキルをより一層吟味して指導していくことが大切であると思います。
- ・ダンスの創作は音楽科固有のスキルの使用が想定されると思います。さらに、音楽科固有のスキルの検討と明確化をしてください。その部分が明確化されていくと、さらに表現活動のバリエーションが広がり、よい活動になると思います。

⑤チームの振り返り

協同学習全体を通して

- ・ダンスの良いところを見つけて発表するのは、高度な質問のように感じましたが、各グループでも全体でも生徒が自ら手を挙げて発表しており、生徒の努力している姿を見ることができました。また、発表が難しい生徒にアドバイスを送ったり、発言を促したりする生徒もいて、学級の色も見ることができました。
- ・すべてのグループが役割のダンスを完成させて、全体で披露できていましたので、良かったと思いました。
- ・最後の2小節が拍手だったので、全員で完成させた感じが出ていたので良かったと思いました。
- ・学習指導案に「協同学習の要素や配慮事項」が明記されていて、どのようなことに留意して授業を展開しようとしているのかが分かりやすく、良かったです。協同学習の要素が①～⑤まで全て含まれていて良かったですが、個々の要素をより具体化する必要があります。特に、「振り返り」の部分は、どのように進めるのかが明確化されているとよいです。
- ・一人一人がダンスを創作しグループでダンスを確定し発表する展開のため、「①互恵的な相互依存関係」「②対面的なやりとり」「③個人としての責任」が明確であり、必然的に生徒の主体的な活動が促進されることになり、良かったです。
- ・「グループで話し合うことで創作に対する振り返りや、改善を行う。(②④⑤)」は、協同学習の要素を分割・整理し、明確化する必要があります。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点など）

- ・恥ずかしさもあると思うのと、輪になって発表することにより、次のグループへ発表を移しやすさもあるかと思いますが、音楽室が狭いため生徒が堂々と発表しにくいように見られました。
- ・話し合いの最中は盛り上げるためにピアノでリズムを取ったり、校歌を流してみたりすると良いと感じました。(授業の途中で抜けてしまったため、もし行っていたらすみません。)

- ・良いときには、褒めていたので良かったと思います。
- ・黒板に分かりやすく、やらなければいけないことがまとめられていたので良かったと思います。
- ・グループ発表のとき、他グループから良いところを聞くのも良いですが、当グループにどんな工夫をしたのかを発表させてからの方が他グループも褒めやすかったような気がしました。
- ・たくさん生徒がいましたので、ダンスを発表する空間があまりなかったので、最後は視聴覚室で授業を行っても良かったと思いました。
- ・「振り付けを考えてみましょう。」と言っても『引き出し』が少ないため、なかなか進行していないように感じました。例えを教師が見せた方が良いと思いました。
- ・全体的に暗いなと思いました。（今回は特になのかかもしれませんが）座って話し合うことも大事ですが立って実際に動きながら活動しても良いのかなと思いました。（ねらいが座った状態での話し合い活動であればすみません。）
- ・1学年の音楽の雰囲気を感じることができました。普段は控えめな生徒が発言している姿が見られて良かったです。
- ・思春期の生徒の中にはダンスを創作するという活動はハードルが高いかと思っていましたが、ほとんどの生徒が自発的・自主的に考えて活動しており、良かったです。中には、余り積極的ではない生徒がいましたが、この生徒への対応の工夫があるとなお良かったです。
- ・ファイルを床に置くように指示したとき、生徒の中には、置くのではなく落とした生徒がいましたが、一つ一つの生徒の動きについて正しい行動を指導する必要があります。
- ・創作の仕方の説明がやや早口でした。話す速さや話した後の確認などの配慮が必要ではないかと思いました。
- ・産業科・農業科B・生活家庭科が手話的な表現で、農業科Aがリズム的な表現でした。今回の単元のまとめで扱うのかかもしれませんが、表現を考えるとどういう手法を使うのかについて話し合う活動があってもよかったと思います。
- ・ホワイトボードに、本日の授業メニューを掲示しており分かりやすかったです。生徒も見通しをもちやすかったと思います。
- ・目標を掲示することは、口で伝えるだけではなく視覚的に訴えることができ効果的だと感じました。
- ・生徒に振り付けを考えさせる場合、1年生の場合は経験も少ないと思われるため「例えば」という例示や手本の動きを示してあげることも必要かと思いました。

【全員授業研究 振り返りレポート】

- ① 協同学習の要素を取り入れた授業についての感想。
- ② 授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ。

単元・題材名	音楽「学校祭に向けて」	生徒	1学年 生徒32名
		場所	音楽室・視聴覚室
日時	平成28年10月6日（木）2校時	授業者	石田 浩子
①…「①個人の責任」として、一人一人にパフォーマンスを考えさせたが、苦手な生徒が多く、ペアで一つのことを考えてから、学級で発表させた方が、会話は増えたと思う。「②対面的なやりとり」についても、やりとりできる材料が少なく、褒めたり、励ましたりする要素がやや少なかった。「③個人としての責任」については、考えることが難しい生徒もいたが、大方達成することができた。「④の協同学習スキル」については、集団で一つのことを完成させることができ、曲のリズムにのって周りの動きを見ながら動きを合わせることができていた。「⑤チームの振り返り」については、グループとして話し合いに対する振り返りの要素はほぼなかった。 ②…授業全般を通して、日頃の学習では、生徒がパフォーマンスを考えるヒントとなるように、事前に教師のデモンストレーションを見せていた。しかし、今回は教師の見本を参考にすることなく、自分達の力でダンスを作り上げることを目標としたため、デモンストレーションを行わなかった。結果、いつもの授業に比べると、やや、創作の様子が盛り上がり欠ける部分があったが、日頃の生徒の実態として考えると、一人でまずダンスを考えてみる事は難しく、ペアになって一つのダンスを考えた方が効果的であった。また、事前にダンスを作る活動をしていたが、1学期の活動だったため、協同学習スキルとして、話し合いを行えるだけの十分な知識が身に付いていなかったと感じる。個人の責任を追及するのではなく、グループとしての責任と置き換えて、話し合いの雰囲気がさらに活発化することを目指していくことが、結果として協同学習の意義に沿うのではないかと反省している。また、ダンスの発表方法であったが、各学級の発表の間、他の学級は手拍子をするなどの活動があっても良かったと感じている。また、他の学級の良い所を発表する場面では、発言が少ないだろうという予測ができていたので、STの先生から感想を求めても良かったと感じている。 今後、協同学習を授業に取り入れる際には、適切なグループの配置と、グループ人数を考えることや、個人の責任の与え方について、より言語活動が活発になるような方法を考えながら取り入れていきたい。			

「美術」（１学年）指導略案

単元・題材名	絵画・水墨画	生徒	１学年２４名
		場所	視聴覚室
日時	平成２８年１０月２５日（火）５，６校時	指導者	MT：泉谷 好子 ST：渡邊 雅都、高山 愛望、 工藤 大地
単元の全体目標	・墨の特性を知ることができる ・白と黒のコントラストと墨の濃淡で自然を描くことができる。		
本時の目標	・習った技法を使うことができる。 ・２人で協力して水墨画を仕上げるることができる。		

通過時間	学習活動	生徒の活動	教師の活動	教材・教具
導入 10分 (13:00～13:10)	挨拶 本時のめあてと課題 前時の復習 目標設定	○机を用意する（大・小） ○前時・本時ワークシート配布する。 ○農業科B日直に続いて挨拶を行う。 ○本時のめあてと課題を理解する。 ○前時の復習をする。 ○個人目標を記入する。	○前時・本時のワークシート配布・机を用意するように伝える。（③） ○挨拶を行う。 ○本時のめあてと課題を説明する。 <協同学習の要素や配慮事項> ・ホワイトボードに書かれている内容を見ながら説明する。（配慮⑪） ○前時までの技法を前時の作品で振り替えさせる。 ○書き方のポイントを説明してから机間巡視を行う。	ホワイトボード 前時の水墨画３枚 ワークシート
展開 協同学習 15分 (13:10～13:25)	テーマの決定 「秋」を考える ２人で話し合う	○「秋」で思い出すことを発表する。 ○２人でテーマを決める。 ○２人で話し合いながら考えたイメージをワークシートに描く。	○テーマのヒントになることを考えさせる。 ○２人ペアで話し合いをするよう伝える。（②、配慮⑫） <協同学習の要素や配慮事項> ・２人で話し合ってテーマを決めさせる。（②）（配慮⑦） ・２人で話し合いながら考えたイメージをワークシートに描かせる。（②） ・分らないことがあった場合は教師に質問するように伝える。（④）	例の水墨画 ワークシート
協同作業 5分 (13:25～13:30)	墨を磨る準備	○クラスごとに墨が磨れるように準備する。	○クラスごとに墨を磨る用意をするよう伝える。（③） <協同学習の要素や配慮事項> ・自分がやるべき作業を見つけることができるように配慮する。（③）	
5分	墨を磨る	○４分墨を磨る。	○姿勢を正して１分ごとに墨を磨らせる。	タイマー

協同学習 25 分 (13:35 ～14:00)	2人で水墨画を描く 名前を書く 印を押す	○2人でワークシートに描いた絵を墨で半紙に描く。 ○2人の名前と印を押す。	○練習(1人1枚)をしてから、本番(ペアで6枚)を描き、6枚の中から1枚選ぶように伝える。(②) ○選んだ1枚に名前と印を押すように伝える。 ＜協同学習の要素や配慮事項＞ ・相談しながら、イメージ通りに絵が描けるように伝える。(②④)	練習半紙 (1) 本番半紙 (6)
協同作業 20 分 (14:00 ～14:20)	片付け	○自分・クラスの片付けを行う。	○片付けを行うよう伝える。(③) ＜協同学習の要素や配慮事項＞ ・自分がやるべき作業を見つけることができるように配慮する(③)	各クラスの流し、1年流し、3年流し使用
応用発展 15 分 (14:20 ～14:35)	話し合い ペアごとに発表	○クラスで発表のペアを話し合いで選ぶ。 ○ペアごとに発表を行う。 ○質問・感想を行う。	○クラスで発表のペアを話し合いで選ぶように伝える。(②) ○ペアごとに発表を行うよう伝える。(②) ＜協同学習の要素や配慮事項＞ ・発表のペアをクラスの話し合いで選び選ばれたペアは責任をもってやり遂げる。(②③) ・発表中は聞く姿勢を意識させる。(④) ・質問・感想を出せるようにペアで1回は質問・感想を言わせる。(②⑤)	各クラスごとに1枚ずつ6人前にでて並ぶ
整理 5 分 (14:35 ～14:40)	振り返り	○感想を書く。 ○農業科B日直に続いて挨拶を行う。 ○机を片付ける。(大・小)	○感想を書くよう伝える。 ○挨拶を行う。	ワークシート 提出は、高山先生へ

(凡例) 「前時の復習…」～授業の流れの骨子、 「○互いに教え合う…」～協同学習に関わる教師の活動

※ (①) … 互恵的な相互依存関係 、 (②) … 対面的なやり取り 、 (③) … 個人としての責任
(④) … 協同学習スキル (⑤) … チームの振り返り

※ (配慮①～⑪) … 配慮事項については、マニュアルP8～10参照。

授業参観者アンケート

授業者：泉谷 好子
協同学習（各要素）についての評価
①互恵的な相互依存関係 ・①については、協力しながら、時間内に作品が完成できていたので、良かったと思いました。しかし、時間がなくて発表ができなかったのも、発表ができればもっと良かったと思いました。 ・今後は大きな紙に、クラス全員で描くなどしたら、協同学習①が達成できるのではないかと思います。
②対面的なやりとり ・②についてペアで秋についてイメージを描く場面でお互いに意見が活発に出ていて良かったです。 ・②については、ペア学習でしたので、生徒は話し合っていましたので、良かったと思いました。 ・②の対面的なやり取りは、雰囲気も良くクラスの関係作りがしっかりしていると感じました。 ・②では、2人で話し合いを進められないペアに、どのように案を出すか言葉がけが必要だったと思いました。 ・ペアでテーマを決める活動は、お互いに意見を言い合うことができ大変良かったです。 ・相談し合いながら、自分の意見を言ったり仲間の意見を聞く様子が見られました。 ・ペアになり、秋のイメージを連想するものを話し合う場面があり、「②対面的なやりとり」の要素が含まれていて良かったと思います。
③個人としての責任 ・③について、墨を磨る準備では一人一人が新聞、習字セット、タオルを自主的に準備することができていました。繰り返しの学習の成果だと感じました。 ・③については、片付けのときに協力しながら自分の役割をこなしていたので、良かったと思いました。 ・墨を磨る準備のときには、声を掛け合うことは少ないように見えてましたが、お互いにすべきことを理解している様子でした。それぞれが責任を持って行動していました。 ・ワークシートに、まず自分で秋のイメージを連想するものを記入することで「③個人としての責任」が果たされていたと思います。
④協同学習スキル ・④については、一枚の半紙に協力して絵を描いて完成させていたのでその過程でできたと思いました。 ・どんなときに協力をすればいいのか、ということ具体的に掲示されていて分かりやすかったです。「④協同学習スキル」 ・協同学習の授業展開としては、要素の「④協同学習スキル」が、より具体的に明記されるとよかったです。
⑤チームの振り返り ・⑤については、時間がなくてできませんでしたが、発表と感想ができていれば良かったと思いました。
協同学習全体を通して ・ペアで水墨画を描く活動は、1枚の紙に2人で絵を描く長所と短所がありました。短所は『時間がかかる、正しい姿勢で描いていない』長所は『ペアと話しながら活動できる、完成作品が多様』なことが挙

げられます。

- ・学習指導案に「協同学習の要素や配慮事項」が明記されていて、どのようなことに留意して授業を展開しようとしているのかが分かりやすく、良かったです。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点など）

- ・秋をイメージさせるために、秋にちなんだ水墨画を提示されていて良かったです。提示場所がやや低い場所だったため、生徒が見にくそうにしていました。
- ・面白い題材で良かったと思います。
- ・生徒は、作品の完成や片付けを協力して行っていたので良かったと思います。
- ・テーマが良く分からなかったのが、秋の絵の例が多くありましたが、プリントの答えの例が1つあれば、もっと分かりやすくなったと思います。
- ・片付けの雑巾を干すときに、ここだと机を片付けられないとかイスを片付けられないとか話し合いをしながら雑巾を干していたのが、すごいと思いました。
- ・姿勢を正し、精神を統一して、墨を磨る時間があると気持ちが整って良いと感じました。
- ・生徒が楽しそうに活動していて雰囲気が良かったです。
- ・授業全体を通して感想は、最後のペアでの発表の時間が足りなくてできなかったのが残念でした。
- ・前にあったテーブルが、正面ではなく横に並べた方がMTの動きが最小限に済んだと思いました。
- ・学習活動の順序がより分かりやすい板書、指示が必要でした。S Tは生徒に援助をしていましたが、何をイメージするのかの部分弱かったです。
- ・テーマについて生徒が話し合う切り口が不明確でした。例えば、「秋の〇〇についての何を書く」など。
- ・例示が絵のみなので、生徒には活動についての流れのイメージ化がしにくい展開でした。
- ・S Tは棚に腰を掛けて腕組みをしていましたが、適切な授業態度ではありません。
- ・2人1組で絵を描く授業は新しい感じがしました。
- ・先生が書いたサンプルを多く掲示することで、生徒が秋をイメージしやすく、絵を描きやすいように導いていたと思います。
- ・秋のイメージを連想させるため、教師が実際に書いた水墨画を掲示している点良かったです。しかし、掲示する場所が黒板の下位置だったので、後ろの生徒が見えにくそうでした。

【全員授業研究 振り返りレポート】

- ① 協同学習の要素を取り入れた授業についての感想。
- ② 授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ。

単元・題材名	絵画「水墨画」	生徒	1年産業科・農業科A・B 生徒24名
		場所	視聴覚室
日時	平成28年10月25日(火) 5・6校時	授業者	泉谷 好子
①については、1枚の絵を2人で完成させるという初めての試みでしたが、お互いのイメージや担当や構成を話し合っ時間内に完成することができました。しかし、片付けに時間がかかり発表ができなかったので今後は時間配分をもっと綿密に立てることが必要と思う。今回は協同学習として2人であったが、今後は大きな紙にクラス全員で描くことをやってみたいと考えている。 ②については、ペアで秋についてイメージがしやすいように例をたくさん用意した。意見は活発に出たが例のとおり描かせてしまって、生徒の創造性を高めることができなかった。 ③については、墨を磨る準備が自主的にできていたり、片付けのときに協力しながら自分の役割をこなすことができていた。 ④については、1枚の絵を半紙に協力して絵を描いて完成させたのでその過程でできた。 ⑤については、時間がなくてできなかったが、発表と感想ができるように時間配分を綿密にする。 協同学習全体を通して ・研究テーマが、協同学習ということなので水墨画で実施してみましたが、かなり無理があったと思いました。むしろ、視聴覚室という環境が整っていない場所で24人が協力して、準備、片付けをどうやっているかを見てもらいたくてあえて、1年生で実施しました。 ・ペアで水墨画を描く活動は、1枚の紙に2人で絵を描く長所と短所がありました。短所は「話し合わなければならないので時間がかかる、正しい姿勢で描いていない」、長所は「ペアと話しながら活動できる、完成作品が多様」なことが挙げられました。			

「音楽」（2 学年）指導略案

単元・題材名	創作ダンス（学校祭に向けて）	生徒	2 学年全員
		場 所	音楽室
日 時	平成 2 8 年 1 0 月 2 6 日（水） 4 校時（1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 1 5）	指導者	MT : 鐘ヶ江 真知 ST : 岩城 研太、高田 のぞみ、外山 陽子
単元の全体目標	・決められた歌やダンスの完成度を高めることができる。 ・学校祭に向けて、学年全体の表現力を高めることができる。		
本時の目標	・一人一人のアイディア（思考）を基に、どのようにダンスをするか仲間と考え（判断）、発表する（表現）ことができる。 ・より良い表現方法について考え、ダンスに生かすことができる。		

過程時間	学習活動	生徒の活動	教師の活動	教材・教具
導入 5 分	挨拶	○指名された学級は、声を合わせて始まりの挨拶をする。	○挨拶する学級を指名する。	・ホワイトボード ・キーボード
	本時の確認	○今日の授業の内容と大切にポイントを理解する。	○今日の授業内容と、大切にポイント（思考力・判断力・表現力）について説明する。	
展開 3 5 分	グループ分け	○周りの状況を見ながらグループを作る。	○各学級の生徒が一人ずついることを条件に、6 つのグループを作るよう伝える。 <協同学習の要素や配慮事項> ・課題を解決するために、教え合ったり、助け合ったりしてよいことを確認する。（配慮②）	・ピアノ ・ギター
	創作活動①	○2 小節のダンスを考える。	○テーマは「祝」として、一人 2 小節のダンスを考えるよう指示する。 <協同学習の要素や配慮事項> ・一人ひとりのアイディアを基に、グループでダンスを考えることを伝える。（①③）	
	グループ内共有	○考えたダンスを伝え合う。	○一人ずつ考えたダンスをグループの仲間に見せる。（③） <協同学習の要素や配慮事項> ・仲間は手拍子をするなど、発表しやすい環境を作るよう助言する。（②④）	
	創作活動②	○話し合いながら、4 小節のダンスを考える。	○個々のアイディアを参考にしたり組み合わせたりして、グループで 4 小節のダンスを創作するよう説明する。（①②③） <協同学習の要素や配慮事項> ・同じ学習課題の設定と構成を単元の中で繰り返し、徐々に学習内容の量と質を高めていく。（配慮⑧）	
	発表・観賞①	○指名されたグループは発表する。	○グループを指名し、発表するよう指示する。	

		○他のグループのダンスを観賞・評価する。 ○話し合いながら、再度4小節のダンスを考える。 ○曲に合わせて発表する。	○生徒同士で相互評価させる。(②④⑤) ○テンポや仲間の動きに合わせて手拍子するよう指示する。(④) <協同学習の要素や配慮事項> ・発表者は観る人を意識した表現をするよう伝える。(④) ・観賞者は、他のグループの良い点と課題点を見つけ、発表者に伝えることを確認する。(②③④) ○他者からの評価や他のグループの発表を参考に、どのように工夫・改善するか話し合い、再度練習するよう指示する。(⑤) <協同学習の要素や配慮事項> ・同じ学習課題の設定と構成を単元の中で繰り返し、徐々に学習内容の量と質を高めていく。(配慮⑧) ・仲間同士で話し合いを通して、共通理解の中で活動する。(②) ・どのように工夫・改善しているか聞いていく。(⑤) ○曲に合わせて、順番に発表するよう伝える。(①③④) <協同学習の要素や配慮事項> ・同じ学習課題の設定と構成を単元の中で繰り返し、徐々に学習内容の量と質を高めていく。(配慮⑧) ・チームで振り返ったことを生かすよう伝える。(④⑤)	
整理 5分	MTより 次時の確認 挨拶	○MTの話を聞く。 ○次回の授業の内容を確認する。 ○指名されたグループはタイミングを合わせて終わりの挨拶をする。	○学校祭で行う創作ダンスは学年全体の発表であることを確認する。(①③) ○他者の良いところを参考にするとともに、自分の発言や行動を工夫・改善していくことの大切さについて伝える。(④) ○次回の授業について説明する。 ○挨拶をするグループを指名する。	

(凡例)「前時の復習…」～授業の流れの骨子、 「○互いに教え合う…」～協同学習に関わる教師の活動

- ※ (①) … 互恵的な相互依存関係 、 (②) … 対面的なやり取り 、 (③) … 個人としての責任
 (④) … 協同学習スキル (⑤) … チームの振り返り
- ※ (配慮①～⑪) … 配慮事項については、マニュアルP8～10参照。
- ※ (配慮☆) … オリジナルの配慮事項。

授業参観者アンケート

授業者：鐘ヶ江 真知
協同学習（各要素）についての評価
①互恵的な相互依存関係 ・グループでダンスを4小節考える活動は、各グループ発言や動きが多く、活発でとても良い活動でした。改善点を挙げるとしたら、平等な発言時間を確保するため、時間を決めてグループ内で一人ずつ発表するなど合っても良かったと思います。
②対面的なやりとり 仲間と確認しながら意見を出し合い、積極的に活動に取り組んでいました。 ・グループごとにダンスを考え、発表した後、お互いを評価していて良かったです。良いことも悪いことも伝え合っていたので、その後の活動で生かしやすいかとは思いますが。 ・意見を言う時間に、最初は普段良く発言している人中心に発言していましたが、徐々に普段あまり意見を言うことの少ない生徒も積極的に発言している様子が見られました。
③個人としての責任
④協同学習スキル ・グループ内での活動だけではなく、ダンスをするにあたってメンバーが考えたダンスを1つ取り入れて仕上げる部分が生徒たちに様々なことを考えさせる良い手立てだったと思います。 ・協同学習の授業展開としては、要素の「④協同学習スキル」が、創作活動においてより具体的に明記されると良かったです。
⑤チームの振り返り ・各グループの発表が終わってから、良い部分と改善部分を発表する場面では、自分たちの評価と見られ方を意識できるもので良いと感じました。 ・最初のダンス発表後、すぐに全体で評価し、それを受けて各グループで工夫、改善と周りの意見を吸い上げて参考にし、構成していて生徒たちにも成果が明確に出来ていました。 ・ダンス後に即時評価として良い所、改善すべきところを周りの生徒に答えさせることで、お互いにとって良い関係ができたのではないかと思います。 ・仲の良い者同士や自由にグループに分かれるとすぐに分かれることができますが、こちらからある程度指定をして分かれるように伝えたとスムーズに分かれるのが難しいことが多い中、すぐに分かれることができるのと、特性がバラバラ、同じクラスの仲間ではないグループの中で、限られた時間の中で話し合い創作したダンスを発表することがスムーズにできており、全体的にコミュニケーションスキルが高いうように感じられました。
協同学習全体を通して ・各グループでダンスを考える中で一人ひとりのアイディアを必ず組み込んでのダンスを構成しているこ

とにより、全員で1つの創作ダンスを構成していることが良かったです。

- ・特性がバラバラのメンバーで集まり、まずは自分一人でダンスを考える、メンバーそれぞれ考えたダンスを元により良いダンスを考え深めていく今回の授業設定は協同学習の基本的な理念にあてはまる内容であり良かったです。
- ・話し合い活動がされており、どこのグループも色々な意見が出ていました。それ自体はとても良いことだと思いましたが、仕切り役がある程度固定されてしまっているのかなと感じる部分もあったので、そこらへんの生徒へどういったアプローチをかけていくのかも必要かと思います。
- ・学習指導案に「協同学習の要素や配慮事項」が明記されていて、どのようなことに留意して授業を展開しようとしているのかが分かりやすく、良かったです。

授業を通しての感想（良かったところ・改善点など）

- ・ダンスがしやすいように教師が率先して環境作りに徹する様子が生徒にも見られたと思います。
- ・自分は体育なので、音楽のこと（専門的なこと）は、よく分かりませんが、ダンスを1分で考えると言ったときに半分以上はできないかと予想していましたが、半分以上は創作することができていました。日頃の学習の成果が発揮されていると感じました。このコミュニケーション能力、発言力、積極性が音楽の時間だけではなく、寄宿舎や実習、他の授業などあらゆる場面とどのようにして結びつけるかが、今後の課題であると思いました。
- ・生徒が主体的に活動していました。
- ・笑顔が多く見られました。
- ・のびのびと活動していました。
- ・活動に参加しない生徒がいなのが、すごいと思いました。
- ・楽しそうに取り組んでいて、雰囲気が良く、表現することに慣れているようでした。
- ・MTがノリ過ぎて、挙手した生徒を見逃していました。
- ・みんな楽しそうで一体感を感じて良かったです。
- ・最初のグループでのダンス構成で1分は少し短く感じました。
- ・基本的にグループで考える時間は生徒主体で極力職員が入らないというスタンスに感じました。その上で必要あればS Tの先生がそれぞれのグループのに入ってサポートしていましたが、グループによって入らないが極端に見えました。
- ・生徒たちが生き生きとした表情で活動に取り組んでいる様子が見られました。
- ・場の雰囲気づくりができていたため、生徒達がダンスを考えやすい良い環境であったと思います。
- ・教師はエンターテイナーではなくてはならないという言葉があるとおりに、生徒達を引きつけることができる働きかけがすごく勉強になります。
- ・タイミングの良い投げかけをして、生徒からいろいろな表現を引き出してよかったです。
- ・生徒が何を大切にすべきが明確に伝えられており、生徒の意識のベクトル合わせができていました。
- ・テンポの良い授業展開で生徒を上手に活動に乗せていました。

【全員授業研究 振り返りレポート】

- ① 協同学習の要素を取り入れた授業についての感想。
- ② 授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ。

単元・題材名	音楽「創作ダンス」	生徒	2 学年全員
		場所	音楽室
日時	平成 2 8 年 1 0 月 2 6 日（水）4 校時	授業者	鐘ヶ江 真知
①協同学習の要素を取り入れた授業についての感想 ・「互恵的な相互依存関係」については、一人 2 小節考えたダンスのアイデアを基にグループで 4 小節のダンスを創作すること、グループが順番にダンスを発表していくことで一つの曲になるという設定したため、生徒の意識のベクトルを合わせた上で授業を行うことができた。 ・「対面的なやりとり」では、グループとしてどのようにダンスを完成させるか話し合ったり、他のグループに対して “良かった点” と “もう少し改善した方が良い点” について評価し合う場面を設定したことで、グループ内とグループ外でやり取りを行うことができた。 ・「個人の責任」では、“必ず 4 小節の中にグループ全員のアイデアを入れる” という条件を設定したことで、一人一人が責任を持って最初にダンスを考えることができたと思う。 ・「協同学習スキル」については、発表しやすい環境をつくるために “他の人が発表するときは手拍子をする” など、心理面に配慮したスキルを提示した。また、そのスキルを当たり前になるようにすることで、テンポ感や小節感を習得することもねらいの一つとしたが、音楽の知識・技能面に関するスキルについても具体的に明記し指導する必要があったと思う。 ・「チームの振り返り」では、授業の最後ではなく、中間に振り返る時間を設定して授業を行った。他のグループから評価された内容を参考に、チームでより良いダンスに工夫するために最初に行ったダンスの振り返りや他のグループを見て取り入れたいところなどを話し合った。MT として、話し合った後にダンスを発表することを伝えていたことや、活発な意見交換になるよう適宜言葉がけを行ったことで充実した振り返りを行うことができたと思う。 ②授業全般を通して、良かったところ、改善すべきところ ・良かったところは、伸び伸び表現できるような環境作りと生徒が待っている状態を作らないよう授業展開を工夫したことで、一人一人のアイデアや仲間とのやり取りを大切にしながら、テンポ感や小節感など音楽の要素を創作活動、表現活動を通して学ばせることができたと思う。 ・改善すべきところは、S T の動きを明確にしていなかった点と、話し合いを仕切る生徒が固定している点だった。個々の生徒にどのような目標を設定するかにもよるが、グループの組み分け方を工夫し、S T を効果的に配置する必要があると考える。			

音楽・美術

協同①ー「互恵的な相互依存関係」

「クラス（班）の全員が課題をクリアする。」、「班で各自が自分の役割を果たし、協力して壁新聞を作る。」など、目標、活動、教材、役割分担、評価や成果（例えばでき上がった作品・製品の他、賞状、達成のご褒美シールなど）などについて互いに協力を必要とするような関係を具体的に書いてください。

音楽

- ・男子パート、女子パートの二部に分かれて合唱を行い、同じパートの相手と音程やテンポをそろえて歌うことを目標に活動を行う。
- ・全員が歌詞を覚えて歌うことを目指す。（どこまで覚えたか、少人数のグループごとに歌を発表して成果を確認する）
- ・各自でダンスを考えた後、グループになって考えたダンスについて話し合い、一つのダンスを完成させて発表する。
- ・学年で分担してパフォーマンスを考え、全体で一つのパフォーマンスを作り上げる。

美術

- ・ペアで墨絵の構成を考え、役割を分担して1枚の絵を協力して完成させる。
- ・4人グループで一人一つ担当を決め、1枚の絵を協力して完成させる。

協同②ー「対面的なやりとり」

仲間同士、援助したり、教え合ったり、議論したり、励ましたり、誉めたりし合うことで生徒がお互いの（学習の）成功を促進し合う機会を授業場面で設定してください。

音楽

- ・男女それぞれのパートが発表し、相手のパートに対して良かった点や改善すべき点について感想を伝え合う。
- ・男女パートの中でさらにグループを作り、お互いのグループの歌声を発表し合うことで自分のグループに足りない部分を確かめる。
- ・ダンスを考える際に、最初に一人一人がアイディアを考え、考えた意見を仲間同士で発表して、良い点や改善すべき点について議論し合う。
- ・歌唱の際に、強弱などどのような表現方法が望ましいかグループで話し合い、発表して互いのグループの強弱に対する良い所を誉め合う。
- ・ダンスが得意な生徒、ダンスが苦手な生徒でペアになって、ダンスが得意な生徒が苦手な生徒に動きを教えたり、励ましたりする。
- ・学年で輪になってパフォーマンスの構成を話し合う。

美術

- ・自分の作品について全員に説明をし、説明を聞いていた仲間が質問や感想を言う。
（質問や感想は一人一回は必ず発言するというルールを取り入れる）
- ・墨絵のテーマや構成について互いに話し合う。
- ・グループでどの道具を使って描くか互いに話し合う。

協同③ー「個人としての責任」

生徒一人一人には個人の責任があり、自分のやるべき役割を果たして個人目標に到達できるように一人一人の活動や役割を設定して書いてください。

音楽

- ・少人数グループで合唱練習をして、一人一人が歌っていることを確認できるような場面を設定する。
- ・創作ラップでは、一人1フレーズ歌詞を考え、必ず一回出番が来るような仕方で発表を行う。
- ・創作ダンスでは、グループで発表した後に、一人一人の動きはどうだったか感想を聞く場面を設定する。
- ・パフォーマンスの練習の際に、動きを理解していない仲間を確認し、仲間同士が個別に教えあうことで個人の責任としての意識を高める。

美術

- ・自分の作品を完成させた後、一人ずつ前に出て説明する。
- ・木や空など、自分の描く担当箇所を決めて、責任を持って担当箇所を描きあげる。
- ・ローラーやぼかし網、ストローなどにインクをつけて、担当部分を描きあげる。

協同④ー「協同学習スキル」（考えるスキル・集団活動スキル・コミュニケーションスキル、教科固有の協同学習に関わるスキル）

より質の高い協力と学習ができるように、授業で指導する社会的スキルと教科固有のスキルを書いてください。

音楽

- ・一定のリズムやテンポを保つために、体の動きや、テンポの取り方を見る。【集団活動スキル】
- ・相手の歌声を聴いて、音程を合わせる。【集団活動スキル】
- ・相手の身体表現を見ることで、テンポの速さやリズムの感じ方、拍子に合わせた体の動かし方について、自分の表現の参考にする。【考えるスキル】
- ・一人ずつ順に声を重ね合わせ、音量や音の響きが変化することを感じさせる。【考えるスキル】
- ・パフォーマンスの練習をする際に、声を出して拍をカウントする。【集団活動スキル】

美術

- ・作品を展示する際の題材の題字について、見栄えがするデザインや色の使い方、字体についてグループで考えて制作する。考える際には、字体を考える生徒、配色を考える生徒と役割分担をして制作する。【考えるスキル】
- ・仲間の担当箇所のバランスを考えながら、自分の描く担当箇所の墨の濃い色や薄い色の使い分けについて考える。【考えるスキル】
- ・教師の手本を参考に、道具の使い方を確かめる。【考えるスキル】

協同⑤ー「チームの振り返り」

どのように援助し合ったり、協力し合ったりしたらチームがうまくいったのかについて、書いてください。

音楽

- ・自分達の合唱やダンスについて、全体のハーモニーや声の音量、リズムや音程、テンポについて

パートごとや全体で項目ごとに振り返りを行った。その結果、声量が上がり、より音程を合わせようと生徒が意識を高めた。

- ・学年ごとにダンスを発表して、他学年同士でダンスの良い所や改善箇所を伝えあう。

美術

- ・完成した作品や、構成を考える際の話し合いの仕方について、ワークシートを用いて振り返りを行った。
- ・協力できた部分、話し合いが上手くできた部分について4人グループで振り返る。

成果と課題

- ・芸術教科は、今まで行っていたことが協同学習につながることや、協同学習の要素とつなげやすい内容が多くあり、音楽では協同学習スキルを明確に取り入れることで、歌やパフォーマンスの質や自発的に取り組む姿勢に向上が見られた。
- ・美術では一人で作品を仕上げていく場面が多い中、協同学習を取り入れることで授業全体に活気が生まれ、結果として授業への取り組み姿勢が向上したと感じる。
- ・協同学習をより豊かなものにするためには、協同学習スキルと知識・技能を照らし合わせて指導することで、生徒の成長にもつながる授業展開ができると感じている。

解決策（解決策の方向性）